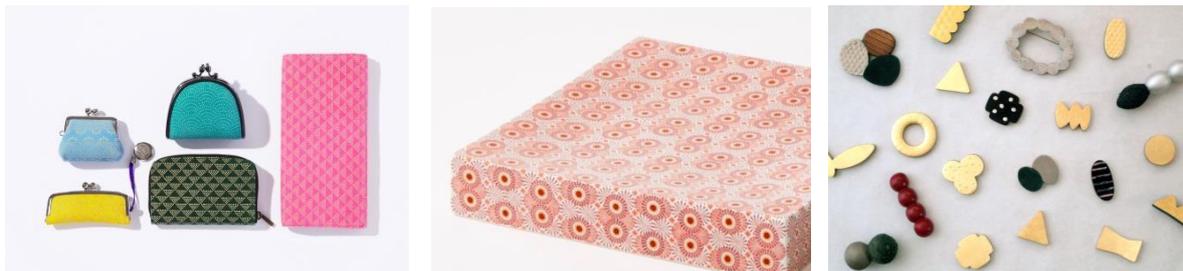


2019.6.26



「若手匠衆 - 夏 -」 伝統工芸青山スクエア 企画展のお知らせ

伝統工芸青山スクエアは 7月12日より25日まで、「若手匠衆 -夏-」と題した企画展示販売会を実施します。全国の工芸品産地より32名の若手職人が集う2週間。ぜひご注目ください。



伝統工芸 青山スクエアでは2013年より、全国の伝統的工芸品産地から若手の作り手を募った企画展を毎年数回に分けて実施してまいりました。

今年は新たに「若手匠衆 -夏-」と題し、32名の勢い溢れる将来有望な作り手をご紹介します。展示・販売会を企画いたしました。

「夏」をテーマとした今回の企画展では、北は東北から南は九州まで、衣食住それぞれの分野から個性豊かな作り手が、これからの季節に楽しめるアイテムを出品いたします。

長い歴史と伝統に育まれた高度な技術に、若手作家ならではの現代的なエッセンスが加わった作品の数々をぜひ皆様にご堪能いただければ幸いです。

会期中は出展者が日替わりでアテンドし、来場の皆様と交流させていただきます。制作工程の一部をご覧いただける実演や、ご来場の皆様に参加いただける体験メニューも充実しております。ぜひこの機会に青山スクエアへ足をお運びいただくとともに、貴媒体にてご紹介いただければ幸いです。

<催事概要>

- 展示会名： 若手匠衆 -夏-
- 開催期間： Part1：2019年7月12日（金）～7月18日（木）7日間
Part2：2019年7月19日（金）～7月25日（木）7日間
- 時 間： 11：00～19：00（入替のため7/12・19は12：00開店、7/18・25は18：00閉店）
- 会 場： 伝統工芸 青山スクエア（東京都港区赤坂8-1-22 1F）
- 参考 URL： https://kougeihin.jp/event/20190712_wakate/
- 出 品 者： 22産地／32名（詳細別紙）
- 主 催： 一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

<出展者情報>

- Part1 【博多織】 近藤啓子・古賀陽子・岡部由紀子・新海佳織 【有松・鳴海絞】 井上知美
【京鹿の子絞】 高橋庸子 【赤津焼】 梅村知弘 【鎌倉彫】 佐藤菊恵 【山中漆器】 山田
マコ 【香川漆器】 中田可奈子 【越前打刃物】 戸谷祐次 【播州三木打刃物】 森田直
樹・田中誠貴 【甲州水晶貴石細工】 土屋隆・土屋典子 【宮城伝統こけし】 佐藤康広
【江戸硝子】 谷元智
- Part2 【本塩沢】 中島律子 【博多織】 相澤久美子・田代和子 【九谷焼】 架谷庸子・林美佳里
【信楽焼】 飯山園子 【波佐見焼】 小森智久 【小代焼】 山口友一 【鎌倉彫】 木内史子 【山
中漆器】 大下亜紀香 【京指物】 小谷純子 【大阪欄間】 木下朋美 【播州そろばん】 高山
辰則 【甲州印伝】 山本裕輔 【甲州手彫印章】 望月煌雅

<伝統工芸 青山スクエア>

全国各地の伝統的工芸品※が 6,000 点以上集まる、日本唯一のギャラリー&ショップ（運営：一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会）。染織品、陶磁器、木工品、金工品、和紙、筆、人形など、伝統的工芸品に指定された全国 232 の産地から 130 以上の産地の工芸品を展示・販売している。工芸品産地の作り手による制作実演・体験イベントも頻繁に開催。

参考 URL： 伝統工芸 青山スクエア TOP <https://kougeihin.jp/>
イベントスケジュール <https://kougeihin.jp/event/>

※「伝統的工芸品」とは経済産業大臣の指定を受けた工芸品。伝統的に使用されてきた原材料で、伝統的技術・技法によって製造されている、主要な製造工程が手作りによるもの、などいくつかの要件をクリアした工芸品。現在全国に 232 の工芸品が指定されている。

■ 本件に関する問合せ先：

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会（担当：宮本・青山・福田）
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22
E-mail: kikaku@kougei.or.jp
TEL: 03-5785-1001 FAX: 03-5785-1002

画像データをご希望の場合は上記までご連絡ください。

<出展者 Pick up>

山田マコ / 山中漆器 伝統工芸士



出展期間：Part 1

山中温泉で木地挽きからうるし仕上げまで一貫したものづくりを手がける。精巧なものづくりの一方で、木の形状や歪みをそのまま活かした器や、ドイツのおもちゃ作りの技法から着想を得たアクセサリーなど、オリジナリティ溢れる制作活動を展開。一点一点表情の異なる作品には木の生命力が溢れている。

佐藤康広 / 宮城伝統こけし



出展期間：Part 1

遠刈田系こけしの作り手として父に師事し現在に至る。

ドイツ、ロシアなど海外の工芸品関係者との交流も積極的に行い、旅先で得た経験を活かして独自の作風を生み出している。青色染料を用いたインディゴこけしの作者としても知られる。

<http://www.sendaikiji-c.com/>

架谷庸子 / 九谷焼 伝統工芸士



出展期間：Part 2

赤絵細描の名手、福島武山氏のもとで学び、近年独立した注目作家の一人。確かな筆致で描かれた伝統的な小紋の中に、若手作家ならではの現代的なセンスが加わり、軽やかで使いやすい酒器や鉢などが生まれる。

平成 30 年度全国伝統的工芸品公募展で「日本商工会議所会頭賞」を受賞。

山本裕輔 / 甲州印伝 伝統工芸士



出展期間：Part 2

「印伝の山本」三代目。伝統技術を継承し高品質な作品を製作する傍ら、時代に合った甲州印伝のあり方を探り様々なコラボ、開発に挑戦している。ワークショップや講演会なども積極的に行い、次世代に甲州印伝を伝承すべく日々製作に励む。

平成 30 年度全国伝統的工芸品公募展で「全国中小企業団体中央会会長賞」を受賞。

<http://www.yamamoto-inden.com/>